

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

令和 3年01月10日 NO.58

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

迎春

令和三年辛丑に因んで

信念をもって新しいことにチャレンジする年

令和3年の元旦は、白い新雪が眩しい雲ひとつない穏やかな晴天で明けました。

今年の干支は、辛丑(かのこうし)で60の中の38番目です。

辛(しん)は十干の第八にして、五行は金性の陰、季節は秋の終わりの方位は西北西。

「辛」は針の象形文字で、ツライ、カライ、ヒドイの意味を持ち、痛みを伴う幕引きを意味する。また「新」という字に通じ、季節でいえば秋の終わり頃で、植物が枯れて新しい世代が生まれようとする状態を指す。

丑(ちゆう)は十二支の2番目で陰。五行は土気の陰、方位は北北東、季節は冬。

「丑」は「はじめ」という意味を持ち、発芽直前の曲がった芽が種子の堅い殻を破ろうとした状態で、命の息吹を表す。

「辛」と「丑」は、五行で「土生金」で「相生」の関係となり、「土」から「金」が生まれるイメージ。

以上をまとめると、辛丑ともに変化の生まれる状態、新たな生命がきざし始める状態を示している。新たな息吹がお互いに増強しあう年となりそうである。

その意味で「信念をもって新しいことにチャレンジする年」としたい。

昨年は、コロナに始まりコロナに終わった年でした。

年が明けても、昨年から世界的に蔓延したコロナウイルスPCR検査陽性者数の増加傾向は止まることを知りません。コロナウイルスについては専門家にも「諸説」ありどう対処するか。自粛と経済対策。

菅首相、今年こそ政治家としての覚悟と指導力、先見性が問われます。

議会も10名でスタートしました。

直接選挙で選ばれる二元代表制の一翼を担う機関としての議会であることを自覚し、与えられた権限と役割を最大限に発揮する事が必要です。

私も、持てる力を充分に発揮し、政策提言と諸々の課題解決に取り組みますので、格段のご指導を宜しくお願い申し上げます。

なにがどうなる

12月定例会条例改正など

おもなものの

<職員給与の改定>

- 1) 棒給表・・・変更なし
 - 2) ボーナス・・・4. 5月⇒4. 45月に変更
- * 給与改定による影響額⇒▲422万7071円

<町学校運営協議会の設置> 学校運営協議会制度：コミュニティスクール

- * 主な役割
- ① 校長作成の学校運営基本方針の承認
 - ② 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べる事が出来る
 - ③ 教職員の任命に関して教育委員会に意見を述べる事が出来る
- ※ 委員構成・・・各学校10人以内 ※ 委員の報酬・・・6000円/年額

<人事案件>

12月 各委員の選任・任命同意

副町長	代表監査委員(識見)	教育委員	教育委員
森重 純也	橋本 龍之	山本 剛久	高石 元子

令和2年10・12月一般会計補正予算

(単位:万円)四捨五入

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費		9041	
総務費	1263	42億8258	協働支援センター経費等148(10月)、かがやきネット600、生活交通131
民生費	3410	19億2394	デジタル(コロナ)500(10月)、障害児介護470、介護保険会計繰出1210、保育所施設管理121、ひとり親世帯臨時特別給付790
衛生費	106	14億7390	12(10月)、予防接種383、一般廃棄物収集400
農林水産費	2962	9億3798	山村開発センター等145(10月)、地籍調査1508、小規模崩壊地復旧2100
商工費	8366	3億6792	雇用維持補助等4739(10月)、ペイペイ2000、仙養が原・よなみ山・星居山トイレ改修等(コロナ)1628
土木費	4602	3億9429	町道維持3057、日の郷線1003、道路台帳整備542
消防費	2432	4億6191	非常備消防(退職金43名分)2235、防災対策経費200
教育費	1396	7億7580	学校トイレ改修(コロナ)1008、特別支援学級教室管理409
災害復旧費	1600	21億0353	現年発生道路橋梁100、過年度発生道路橋梁1500
公債費		13億1894	
諸支出金	4億0000	7億4391	保健医療福祉支援事業基金積立4億
予備費		4000	
合計	6億6137	149億1511	10月補正分5685、12月補正5億9661、12月歳入(ふるさと納税)4億

12月補正予算

○主な歳入

- ・国庫支出金 1542万円
- ・県支出金 4042万円
- ・ふるさと応援寄付金 4億円

○主なコロナ対策関連予算

<10月補正>

- ・商工会店舗改装 900万円
- ・中小規模事業者雇用継続支援 4000万円
- ・施設トイレ改修 790万円

<12月補正>

- ・電子黒板・スタンド 1826万円
- ・ひとり親家庭等給付930万円
- ・学校トイレ等 1008万円
- ・特別支援教室 409万円
- ・かがやきネット 600万円
- ・ペイペイ(還元率30%)
令和3年2~3月 2000万円
- ・観光施設トイレ等 1063万円

令和2年度予算会計別総括表

単位:万円(四捨五入)

会計名	令和2年度		適用
	10.12月補正	10.12月補正後予算	
一般会計	6億6136	149億1512	
特別会計計	4322	39億1852	
病院事業会計		9億3321	
合計	7億0458	197億6685	
特別会計+病院事業会計	4322	48億5173	

- * 簡易水道特別会計
・一般修繕(西油木) 1116万円
- * 農業集落排水特別会計
・調査業務・委託 57万円
- * 国民健康保険特別会計
・高額医療補助 1300万円
- * 介護保険特別会計
・基金造成等 1674万円

新型コロナウイルス関連対策予算 総額で14億5557万円

12月追加補正された時点で、武漢コロナウイルス関連対策予算が、当初予算3956万円、対策事業費、特別給付金事業費9億36万円など総額で14億5557万円となった。
このうち、4億5373万円3千円が、自主防災活動支援事業、子育て世帯支援事業、観光施設管理運営事業、プレミアム高円通発行、ペイペイ30%還元事業など町独自で行う44事業のウイルス対策費です。

令和2年度.新型コロナウイルス感染症対策予算概要

単位:万円

補正予算	一般会計	国民健康保険特別会計
4月	3,300	116
5月	91,516	
6月	9,396	
7月	25,885	
9月	295	
10月	5,185	
12月	4,632	
合計	14億0209	116

補正予算質問

ふるさと応援寄附金4億円

Q木野山 歳入に「ふるさと応援寄附金4億円」とあるが、個人情報保護法に抵触しない範囲で説明を。

A町長 寄付を頂いた方は、丹下大(たんげまさる)さん。神石高原町出身で今東京にお住まいです。株式会社「シフト」の代表取締役社長をされている。丹下さんには、町も以前「経済大使」をお願いした。以降も神石高原町のまちづくりについて様々な視点で色々なアドバイスを頂いている。

今回私がSNS、フェイスブックでこぼだけ保育所の新築移転について投稿したところ、「全部でどれくらい掛かるのか」と問い合わせがあり「4億円位」と返答したところ、「全部寄付します」という事で、4億円の寄付を頂きました。個人寄附で「ふるさと納税」です。

全額を町で保育所に充てることとなった。

今年度建設完成とはならないので基金に積み財源充当したい。このうち幾らかは、個人の思いもあり、基金で残り、保育所のソフトの運営にも使用したい。

保育所整理検討委員会に意見書を踏まえた上で町の考えを報告し、用地は民地を含め検討いただく。

場所の決定はしていないが候補地を何件か示し検討して頂く予定です。

議論はして頂き、意見は尊重しますが、議会もあり全てがそれで決定とはなりません。



12月8日に臨時議会を開き議会構成を決めました。

私は、神石高原町監査委員、総務文教常任委員会委員
議会運営委員会委員として活動の一端を担うことになりました。

全力を集中いたします。

宜しくご指導のほどお願い申し上げます。



一般質問

入江町長の所信表明の中に目標として定められた「町民の誰もが、安心して暮らせる、幸せに暮らせる、そして誰もが挑戦できる町のさらなる進化」が実現できますよう期待いたします。

その中であって「ハード、ソフト事業それぞれにおいて地域の特性、資源を有効活用することを基本として、地域の意見をしっかりと聞き施策を練り、取り組む」とありますが、以下基本的なお考えを伺う。

スマート・コンパクトシティ構想は

①均衡ある地域の発展が町づくりの基本であることは間違いありませんが、人口減少傾向に歯止めがかからない本町の将来において神石高原町の自立存続を継続・確立するためには、スマート・コンパクトシティ構想も戦略のひとつとして検討すべきと思うが、どう思われるか。

町財政運営構想は

②また、財政については、具体策の中で財政指数は改善してきたが、今後は国からの交付金の減額を踏まえ経費削減を推進するとともに、遊休財産の処分など引き続き計画的財政改革を進める。とありますが今後の構想について伺う。

A町長 本町の経済状況は健全な状態を維持しているが、地方交付税に依存しており自主財源が乏しい。限られた予算を効果的に活用し、最小の経費で最大の効果を出す知恵と工夫、改革が求められる。

老朽化した施設の廃止・処分を進め、本町の豊かな地域資源を活用し、世代を超えた全町民が安心して暮らせる、だれもが挑戦できる、魅力あるまちづくりの実現を進めたい。

Q木野山 公会計での決算では厳しい数字が出ている。公での収益は限られている。町民の理解を得ながら集約し、コンパクトシティ化を図り、標準財政規模に近づける努力が必要だ。

A町長 集約には切捨て部分とのバランスが大事だ。住民との協議を重ねながら、デジタル技術の活用などでスマートシティ化、効率化を図りたい。時代は変わっており世界情勢に対応できる行財政運営を行いたい。

小学校区を単位とする「生活圏」を維持

A町長 人口減少や高齢化が著しい中山間地域では、小学校区を単位とした「生活圏」を維持すること、将来にわたって暮らし続けることが重要だ。人やモノ、サービスの循環を図ることで、生活を支える新しい地域運営の仕組みを進めるためにも、第2次長期総合計画や総合戦略の中にも位置付けている。各地区協働支援センターと協働で、魅力ある生活拠点づくりを目指す。

スマート化という面では、デジタル技術の導入などは課題解決の切り札となると思う。この波をあらゆる場面で活用し

スマートなまちづくりを進めたい。

Q木野山 本町の特色を基にコンパクト化を考えると

- ①多極分散型とダンゴと串型の混合型とする
 - ②地域コミュニティは多極
 - ③団体組織の中心部への集中化
 - ④合併後のゾーン化構想
 - ⑤核を結ぶ道路網の整備
 - ⑥スマート化への挑戦が基本となる。
- どう思われるか。

A町長 中山間地としての特徴を持つ本町は長期総合計画・過疎計画に於いてご指摘のような街づくりを進めている。団体組織の位置については、

地域の皆さんとしっかりと議論し進めたい。

今後は、合併時のゾーンの役割も含めて詰めていきたい。

Q木野山 財政については、平成30年度地方公会計決算指標からの課題として、

- ①人口規模にあった適切な資産保有維持が必要。
 - ②税金回収体制の維持やふるさと納税制度への積極的取り組みなど、引き続き財源確保が必要。
- など指摘があるが、公共施設整備、町県林道整備、教育環境構築などインフラ整備投資は、町内経済対策も含め必要不可欠だ。中長期的な町政運営設計が必要だが構想を。

